

第1学年社会科学学習指導案

日 時 平成16年11月10日(水)5校時
学 級 1年1組(男子19名、女子19名、計38名)
場 所 1年1組教室
授業者 教諭 本堂 隆

1 単元名 都道府県の調査 「岩手県」

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領【地理的分野】の内容(2)「地域の規模に応じた調査」における(イ)「都道府県～47都道府県の中から幾つかの都道府県を取り上げ、地理的事象を見いだして追究し、地域的特色をとらえさせるとともに、都道府県規模の地域的特色をとらえる視点や方法を身に付けさせる。～」の教材として取り扱うものである。学習指導要領では、「一斉授業」「教師主導授業」「教科書中心授業」から、「個性を生かす授業」「自ら学ぶ授業」「適切な資料活用と適正な表現力を身につける授業」への脱皮を強く促している。また、事例として取り上げる都道府県について「学校所在地の都道府県を含めて」と内容の取り扱いに明記しており、「学校所在地の都道府県」を例に地域的特色をとらえる視点や方法を身に付けさせる事を主なねらいとしている。そこで、調査活動の第一歩として、「岩手県」を学習する事で「地域的特色をとらえる視点や方法」を身につけさせる足がかりとしたい。

岩手県は、北東部に位置し、北は青森県、南は宮城県に隣接、東は太平洋に臨んでいる。直線距離で東西122km、南北189km。海岸線の延長704.3km。面積は15,275km²で、東京都の約7倍もある。秋田県との堺の奥羽山脈は、噴火による火山岩層が覆う地層で、岩手山や八幡平、和賀岳、栗駒山などの険しい山々が連なり、さまざまな火山地形が見られる。豊富な温泉にも恵まれている。北上山地は、長期間の浸食によって準平原化しており、その山頂部が早池峰山。東斜面は太平洋に臨んでいる。奥羽山脈と北上山地の間を流れる北上川に沿って北上盆地が開けている。太平洋に面する海岸線の北は、隆起海岸で海食崖や海岸段丘が発達し、南は入江の多いリアス式海岸で、変化に富む対照的な景観を見せている。また、産業に関しても、一次産業では、北上盆地を中心とした稲作地帯、稲作地帯の周りでは、りんごや西洋なしに代表される果物栽培、県北の畑作地帯・園芸も行われている。三陸沿岸は全国有数の漁場であると同時に、養殖漁業や栽培漁業にも力を入れている。二次産業では各地に地場産業や伝統工業が残されていると同時に、新幹線の開通や高速道路の開通を機会に県南を中心に新興の工業団地が形成された。現在でも広がりを見せ、出荷が伸びている状況である。これらの主な市場は首都圏であり、首都圏との結びつきが強くなっており、今後も岩手県発展の核になると考えられる。このように地形、産業において多様な地域性を持っており、地域的特色を多様な視点や方法で捉えるための条件が備わっている県と言える。

次単元の他の都道府県では岩手県で学んだ多様な視点や方法を活用し、その都道府県の特徴をとらえていきたい。

(2) 生徒観

生徒は小学校の4年生で「私たちの県」という教材で岩手県の全体的な地形や産業、交通網の様子や都市の位置をまとめる学習をしてきている。中学では「身近な地域」として金ヶ崎町を題材に地形図の利用方法を学び、その中で町の特徴を捉えてきた。「都道府県」の調査活動に関しては、この単元がはじめてである。そこで、自分の住む県でもあり、調べ学習に対する意欲・関心、資料活用への興味・関心を喚起した授業にしたい。また、地域的特色をとらえる視点や方法をしっかり押さえる授業にしていきたい。

(3) 指導観

「地域の規模に応じた調査」の「都道府県」の基礎・基本は何かと考えた場合、その都道府県の地理的事象(特色)が基礎・基本ではなく、その事象(特色)をとらえるための

視点と方法が基礎・基本ととらえる。最終的に、その視点と方法で授業では取り上げない地域についても必要に応じて調べることができるようにしたい。視点とは、地理的事象のどこに着目するかであり、方法とは、どんな資料でその事象を裏付けでき、その要因まで分かるかである。簡単に言えば、ある都道府県のある事を知りたいとき、どんな資料を探せば良いかが分かる事であると考え。そこで、最初の都道府県「岩手県」の教材で、どんな資料で何が分かるのか、という事をはっきりとらえさせたい。その力をもとに後の2都道府県で地理的事象から自ら課題を設け、その調べ学習に必要な資料を精選できる力の育成へとつなげたいと考える。

3 単元の指導目標

(1) 意欲を持って岩手県の特徴を調べ発表することができる。

< 関心・意欲 >

(2) 岩手県の地理的事象に着目し、その事象の要因まで調べる追究課題を設定できる。

< 思考・判断 >

(3) 岩手県の地理的事象の特徴・要因を調べるために資料を活用し情報を選択できる。

< 資料活用 >

(4) 岩手県の特徴を理解し、どんな資料でどんな事が分かったかまとめる事ができる。

< 知識・理解 >

4 指導・評価計画(計7時間)

NO, 時間	学 習 内 容 課 題	評価規準 < 観 点 > 「評価方法」	具体の評価規準		「努力を要する」生徒への手だて
			A「十分満足できる」	B「おおむね満足できる」	
(1) 1/2	追究課題の設定 ・都道府県の特徴を調べる視点や方法を理解させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 都道府県の特徴を知るには何をしらべたらよいだろうか。 </div>	都道府県の特徴を知る視点の予想を考えようとしている。 < 関心・意欲 > 「学習プリント」 「発言」	視点をいくつか考えている。	視点を一つ考えている。	地理的事象としてどんな事が上げられるか示し手がかりを与える。
		岩手県の特徴を調べるために統計や地図を通して適切な情報を選択して活用している。 < 資料活用 > 「期間巡視」 「発表」	適切な情報を選択して活用できる。	適切な情報を集める事ができる。	必要な資料を示し手がかりを与える。
2/2 本時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 岩手県の特徴を知るには何をどこまで調べればよいのだろうか。 </div>	岩手県の特徴を知る視点を追究課題として考えている。 < 思考・判断 > 「学習シート」 「机間巡視」 「発表」	地理的な事象の背景や要因まで調べる追究課題を考えている。	さまざまな視点から追究課題を考える事ができる。	適した追究課題を示し、それに似通った地理的事象について課題を考えさせる。

		<p>追究課題を決定し課題解決に必要な資料を予測している。</p> <p><思考・判断> <資料活用> 「学習シート」 「机間巡視」 「発表」</p>	<p>追究課題を決定できない課題解決に必要な資料を考える事ができる。</p>	<p>追究課題を決定できる。</p>	<p>本人の興味関心及び自分で調べていきやすい課題を選ばせる。</p>
(2)	<p>調査活動</p> <p>1</p> <p>・適切な資料を選択し調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>課題を解決しよう。</p> </div>	<p>追究課題に解決にふさわしい資料を選んでいく。</p> <p><資料活用> 「机間巡視」</p>	<p>いくつかの資料を選択し調べていく。</p>	<p>1つの資料を選択し調べていく。</p>	<p>適した資料を与える。</p>
		<p>資料から課題を解決できる。</p> <p><思考・判断> 「机間巡視」</p>	<p>資料から課題を解決し、その地理的要因まで考えていく。</p>	<p>資料から課題を解決している。</p>	<p>資料の着目点を教えて一緒に考える。</p>
(3)	<p>調査活動のまとめ</p> <p>1</p> <p>・調べた結果をB5版にまとめ、学級毎に1冊の本にする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>自分のページを完成させよう。</p> </div>	<p>調べた結果をまとめている。</p> <p><思考・判断> <知識・理解> 「机間巡視」 「B5版自作ページ」</p>	<p>調べた結果を統計資料や地図を挿入し分かり易く表現している。</p>	<p>調べた結果が分かるようにまとめている。</p>	<p>最低限、記入して欲しい事を指示し完成させる。</p>
		<p>調べた結果を発表している。</p> <p><知識・理解> 「発表原稿」 「発表の態度」</p>	<p>調べた結果を資料に基づいて分かり易く説明できる。</p>	<p>調べた結果を伝える事ができる。</p>	<p>発表の基本にそって言う事ができる。</p>
(4)	<p>発表と評価</p> <p>2</p> <p>・調べる視点にそって発表する。 ・発表を聞いて岩手県の特徴を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>岩手県の特徴は何だろう。</p> </div>	<p>発表を聞いて内容を理解しようとしている。</p> <p><関心・意欲> 「聞く態度」 「挙手質問」</p>	<p>発表を意欲的に聞いて理解し質問出来る。</p>	<p>発表を意欲的に聞いて理解できる。</p>	<p>発表者の課題の調査結果に集中させる。</p>

<p>(5)</p>	<p>補充学習</p> <p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県の特色をまとめる。 ・他都道府県を調べる際の視点や方法を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>都道府県調査の視点や方法をまとめよう。</p> </div>	<p>岩手の特色を理解している。 <知識・理解> 「机間巡視」 「ノート」</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>学んだ視点と方法を生かし他都道府県を調べようとしている。 <関心・意欲> 「ノート」</p>	<p>岩手の特色を地理的要因を踏まえ理解できる。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>どんな資料でどんな事が分かるか理解し他都道府県を調べて見ようと思う。</p>	<p>岩手の特色を理解できる。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>どんな資料でどんな事が分かるか理解できる。</p>	<p>岩手の特色を白地図にまとめさせる。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>どんな資料でどんな事が分かるか2～3点教えて他都道府県で生かさせる。</p>
--------------	--	---	--	--	--

5 本時の指導

(1) 本時の目標

岩手県の特徴を知るための視点にあった追究課題を設定できる。
 視点にあった資料を考える事ができる。

(2) 本時の展開

段階	学習の流れ	時間	学習活動		指導上の留意点 評価規準と評価方法 資料
			生徒の活動	教師の活動	
導入	1 導入	5分	(1)前時の授業を想起し、岩手県の実態(地理的事象)を確認する。 ・りんごが全国3位 ・三陸はリアス式海岸である。	・岩手県の地理的事象の確認だけで、岩手県の特徴を、とらえたこと事になるか考えさせる。	・前時をまとめたプリント
	2 示 課題の提示		岩手県の特徴を調べる課題をつくろう。		
展開	3 予想	35分	(3)予想(視点)を考える。 <期待する予想> ・なぜ、岩手ではりんご栽培が盛んなか。また、どんな種類があるか。 ・なぜ、リアス式海岸はできたのか。また、漁業にどのような影響を与えているか。	・導入で確認した地理的事象の1~2を例にして、どのような課題が追究課題としてふさわしいか考えさせたい。	・学習シート 評価1 岩手県の特徴を知る視点を追究課題として考えている。 <思考・判断> 「学習シート」 「机間巡視」 ・追究課題記入シート ・地図帳 ・資料集 必要に応じて「岩手の中学生のための地理資料集」「岩手県勢要覧」
	4 示 課題の追究		(4)岩手県の地理的事象を踏まえて、その背景、要因まで調べる追究課題を考える。 ・自然、地形関係 ・交通関係(道路、鉄道など) ・工業、商業関係(工業団地、工業など) ・農業、畜産関係 ・林業、水産業関係 ・文化、歴史関係(史跡、遺人など) ・生活、環境関係(人口、物価など) ・観光、その他関係(名所など)	・出来るだけ多く出させる。 ・自分の考えた追究課題が左の7分野のどれに該当するか考えさせる。 ・追究課題は岩手県の特徴を調べる視点に適合するものを考えさせたい。または、教授したい。 ・余裕があれば、追究課題を解決するために必要と思われる資料についても考えさせたい。	

<p>終 結</p>	<p>5 まとめ</p>	<p>10分</p>	<p>(5)自分以外の生徒が作った追究課題を参考し、自分の追究課題を決定し、課題の予想を立てる事ができ課題解決に必要な資料を考える。</p>	<p>・いくつか発表させ、決定した追究課題に評価を与え、意欲付けさせたい。</p>	<p>評価2 追究課題を決定し課題解決に必要な資料を予測できている。 <思考・判断> <資料・活用> 「学習シート」 「机間巡視」 「発表」</p>
----------------	--------------	------------	--	---	--